

日独ハーフの天才ヴァイオリニスト、ファン待望の来日公演!

# エリック・シューマン

Erik Schumann Violin Recital

## ヴァイオリン・リサイタル

2023年9月3日(日)  
14:00開演(13:00開場)

山形テルサホール

W.A.モーツァルト：  
ヴァイオリン・ソナタ 第32番 変ロ長調 K. 454

F.シューベルト：  
ロンド ロ短調「華麗なロンド」 Op. 70, D. 895

E.W.コルンゴルト：  
「から騒ぎ」からの4つの小品 Op. 11

R.シュトラウス：  
ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 Op. 18, TrV 151

あきら  
江口 玲(ピアノ)

# JAPAN TOUR 2023

©Thorsten Hönig

チケット：全席指定 3,000円(消費税込)

チケット発売日：2023年5月8日(月)

主催  
お問合せ・お申込み

コンサートイマジン 03-3235-3777(10:00~18:00/日・祝除く)

HPより24時間受付 座席指定可 <http://www.concert.co.jp>



その他  
チケット取扱い

●山形テルサ 023-646-6677(9:00~17:00水曜日休館、水曜日が祝日・振替休日の場合は翌平日)

●チケットぴあ <https://pia.jp/> [Pコード242-015]

※末就学児のご入場はご遠慮ください。 ※出演者及び曲目は変更される場合があります。予めご了承ください。

山形テルサ指定事業

主催：コンサートイマジン、山形新聞・山形放送

後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)



# Erik Schumann Violin Recital

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団やバイエルン放送交響楽団をはじめ、ヨーロッパのトップ・オーケストラとの共演を重ねてきた天才ヴァイオリニスト、エリック・シューマン。ファン待望となる日本ツアーがこの度決定した。これまでの公演でも共演してきた日本を代表するピアニスト、江口玲が今回もパートナーを務める。自身が第1ヴァイオリン奏者を務めるシューマン・カルテットが現在の楽壇において傑出した活躍を続ける一方、ソリストとしてもその豊かな楽想でファンを魅了してきたエリック。日本人ピアニストを母に持つ彼にとって、日本でのリサイタルは特別な意味を持つ。今回の来日公演は、そんな天才の現在地を聴くまたとない機会になるだろう。



エリック・シューマン  
(ヴァイオリン)  
Erik Schumann Violin



江口玲  
(ピアノ)  
Akira Eguchi Piano

1982年ドイツ生まれ。98年よりケルン音楽院で学ぶ。

14歳でゲヴァントハウスオーケストラと、15歳でデュッセルドルフ交響楽団と共演するなど、10代から目覚ましい活動をしてきた。

14歳のとき、巨匠クリストフ・エッセンバッハ氏に、才能を認められ、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン国際音楽祭にソリストとして出演。また、「レナード・パーンスタイン賞」を受賞した。00年、01年とラヴィニア音楽祭(アメリカ)に出演、シカゴ響と共演した。小澤征爾氏から指名を受け、小澤征爾音楽熟オペラプロジェクトや水戸室内管弦楽団に参加。

これまでに、日本では、都響、東響、読響、N響、アンサンブル金沢、京響、神奈川フィルなどと共演し、海外では、パリ管、北ドイツ放送響(ハンブルク(現エルブフィル)、ハノーファー)、トーンハレー管、バンベルク響、ワシントン・ナショナル響、BBCフィルなどと共演し、確実に世界的キャリアを築いている。

また、2009年には、エッセンバッハのピアノでリサイタルを開催。大成功を収めた。

ドイツのA&VレコードよりデビューCDをリリース。ヨーロッパと日本でも高い評価を得た。

国際的な活躍をみせるシューマン・カルテットの第1ヴァイオリンを務める傍ら、現在フランクフルト音楽・演劇大学で教授を務めている。

[http://www.concert.co.jp/artist/erik\\_schumann/](http://www.concert.co.jp/artist/erik_schumann/)



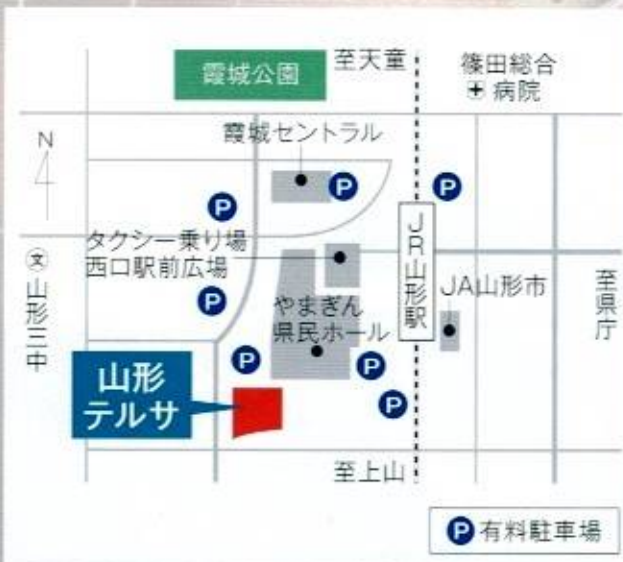
東京藝大附属音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業、その後ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを修了。1992年に大成功を取めたアリストリーホールでのニューヨークリサイタルデビュー以来、アメリカ、ヨーロッパ、アジアでの主要演奏会場にて演奏を続けてきた。ニューヨークタイムズ紙からは「非凡なる芸術性、円熟、知性」「流暢かつ清廉なるピアニスト」と賞賛されている。

作曲・編曲者としても実力を備えた大胆な解釈と表現技法でリサイタルや協奏曲など国内外を問わず活躍を続けるほか、ギル・シャハム、竹澤恭子、渡辺玲子、アン・アキコ・マイヤース等数多くのヴァイオリニストたちから絶大な信頼を得ている。レコーディングはドイツグラモフォン、フィリップスやNYSクラシックスより多数のアルバムをリリース。最新作は2019年リリースのアルバムに続きラフマニノフの神髄を描きだした「ラフマニノフII」(NYSクラシックス/2022年発売)。

2011年5月までニューヨーク市立大学ブルックリン校にて教鞭を執る。

現在もニューヨークと日本を行き来して演奏活動を行っているほか、洗足学園音楽大学大学院客員教授、東京藝術大学ピアノ科教授を務める。

<https://www.kajimotomusic.com/artists-projects/akira-eguchi/>



## 山形テルサホール

〒990-0828

山形県山形市双葉町1-2-3

TEL:023-646-6677

●JR山形駅西口から徒歩3分

●お車でのお越しの方は、お近くの駐車場をご利用ください。

また、混雑が予想されますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

新型コロナウイルス感染予防対策について、お客様へのお願い

「マスクのご着用」「咳エチケット」等、ご来場いただくお客様へのお願いをコンサートイマジンHPに掲載しております。

ご来場の際には必ずお読みください。

<http://www.concert.co.jp/news/detail/1300/>

